

## 第 2 学年課題研究 &lt;文型&gt; 第 4 回

## 教員用 授業の流れ

## 1. 授業実施場所

各教室

## 2. 生徒の持ち物

課題研究メソッド、課題研究ノート、参考文献

## 3. 教員の準備するもの

キーワードマッピングの縮小コピー (課題研究ノート貼付け用)

## 4. 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導入	15:20 ～	<p>○キーワードマッピングの縮小コピーを配布し、課題研究ノートに貼らせる。</p> <p>～前回の続きから～</p> <p>○『仮説の設定と検証』を記入する。(課題研究ノート P15 課題研究メソッド P65 参照)</p> <p>○『研究計画書の作成』をする。(課題研究ノート P24~P25)</p> <p>★1年間かけて行う研究が十分なものになるように、しっかりとした研究計画を立てるよう伝える。</p> <p>○研究計画を立てながらアンケート調査、インタビュー調査、参与観察[関心を抱いた組織やグループにその一員として参加(参与)しながらデータを収集する手法]、実験の準備など、どの手法で研究していくのか話し合う。なお、文献調査だけで課題研究を進めていくグループがあってもよい。</p> <p>次回(5月29日)の予告</p>	<p>《多くのグループが終わっている部分》</p> <p>○『研究テーマを決める』課題研究ノート P8 下をかく。(課題研究メソッド P47 参照)</p> <p>《遅めのグループがやっている部分》</p> <p>○リサーチクエスションの設定を行う。(課題研究ノート P12 課題研究メソッド P52, P53 参照)</p> <p>課題研究ノート P12 は書けないところは書かなくてよいが、なるべく深く探究できるようリサーチクエスションを設定させたい。</p> <p>《多くのグループがやっているところ》</p> <p>○『仮説の設定と検証』を記入する。(課題研究ノート P15 課題研究メソッド P65 参照)</p> <p>★本日のメインは『研究計画書の作成』である。</p> <p>○すでに前回から書き始めているグループもある。</p> <p>○参考文献を P35 に書くように指示する。(文系の課題研究では参考文献がとても大事であることを伝える。)</p> <p>○進捗状況がグループによって違ってもよい。</p>

<p>16:07 ~</p>	<p>★『研究計画書の作成』が中心になることを伝える。文献を調べ、持参することを伝え、P35 文献リストに記入することを伝える。</p> <p>★『研究計画書』(課題研究ノート P24~P25)を授業後に提出できるよう取り組む。</p>	<p>《予告》</p> <p>○研究計画書は5月29日の授業後に回収し、担任・副担任でチェックすることを伝える(チェック項目について P23)。また、不十分なものは書き直しをすることになることを伝える。</p> <p>○先生方のチェックページは、課題研究ノート P23。</p> <p>○担任・副担任で手分けをして P23 で研究計画書をチェックする[6月12日の授業までに]。不十分な生徒は6月12日の課題研究授業時に返却し、修正させる。研究計画書がそのまま良いグループは6月12日から研究を開始する。 (ほとんどないと思われる。)</p>
--------------------	--	---